

2022年3月1日

「看護職のための眼の水晶体の放射線防護ガイドライン」普及のための調査

本学会では、2021年4月の法令改正に向けて、「看護職のための眼の水晶体の放射線防護ガイドライン」を2020年12月に取りまとめて公表しました。現場で使いやすいガイドラインを目指して作成しましたが、よりご活用いただけるよう内容の検討を行って参りたいと考え、アンケートを実施いたしました。本調査の概要は以下のとおりです。

調査期間：2021年10月27日～同年11月26日

回答者：日本放射線看護学会員 99名

方法：無記名のインターネット上のアンケート

<質問項目>

- Q1. あなたの職種をお答えください
- Q2. あなたは放射線診療従事者または放射線業務従事者ですか
- Q3. 個人モニターを支給されていますか？(Q2で放射線診療従事者または業務従事者と回答した者のみ回答)
- Q4. 2021年4月から眼の水晶体の線量限度が引き下げられたことをご存知ですか？
- Q5. 眼の水晶体の被ばくについてあなたは不安を感じますか
- Q6. 当学会の「看護職のための眼の水晶体の放射線防護ガイドライン」をご存知ですか
- Q7. 「看護職のための眼の水晶体の放射線防護ガイドライン」の内容はわかりやすいですか？(Q6で「知っている」と回答した者のみ回答)
- Q8. 「看護職のための眼の水晶体の放射線防護ガイドライン」は、あなたの業務の役に立ちますか？
該当するものすべてを選択してください(Q6で「知っている」と回答した者のみ回答)
- Q9. 本ガイドラインについてご意見があれば記載ください
- Q10. 水晶体の被ばくについてお考えなどあれば記載ください

調査結果について、以下の通り3つに分けて順次ご報告させていただきます。

- ・第1報：水晶体ガイドラインの周知の状況と個人モニタリングの現状(Q1,2,3,4,6)
- ・第2報：水晶体の放射線被ばくへの不安とガイドラインの活用法について(Q5,7,8)
- ・第3報：水晶体の放射線防護のための課題（フリーコメントを中心に）(Q9,10)